



| | |
|------------------|---|
| Title | 北海道大学映像・現代文化論学会彙報 |
| Citation | 層 : 映像と表現, 13, 207-207 |
| Issue Date | 2021-04-20 |
| Doc URL | http://hdl.handle.net/2115/81027 |
| Type | bulletin (other) |
| File Information | gakkai_ihou.pdf |



[Instructions for use](#)

北海道大学映像・現代文化論学会 彙報

◎主催 北海道大学大学院文学研究院 映像・現代文化論研究室

◆第四回 北海道大学映像・現代文化論学会大会

◎日程 二〇二〇年一月二二日(土) 一〇時〜一七時三〇分

◎方式 オンライン開催

↳プログラム

・総合司会 応 雄

・開会の辞 中村 三春

○研究発表

ヤンチョー・ミクローシュ監督の映画における

「他なる場所へテロトピア」について

——『僕はこのようにやって来た』の空間システムをめぐる——

博士後期課程 モルナール・レヴェンテ

司会 博士後期課程 堅田 諒

『野良猫ロック セックスハンター』の時代性

——大和屋を中心——

博士後期課程 崔 文婕

司会 博士後期課程 堅田 諒

『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』論

——物語機械と、その両義性——

博士後期課程 肖 禾子

司会 博士後期課程 大野 建

「生の現在進行形」と「出来事の複数性」

——侯孝賢『憂鬱な楽園』試論——

博士後期課程 キョウ 金浪

司会 修士課程 三浦 光彦

「1秒に24回の真実」を超えて

——ハイフレームレート技術からアクション映画へ——

博士後期課程 歐陽 如一

司会 修士課程 李 浩フン

○講演

偶然と事物の美学

——クラカウアー『映画の理論』をめぐる——

東京大学大学院准教授 竹峰 義和

講師紹介 小川佐和子

・閉会の辞 阿部 嘉昭

(肩書の記載のないものは、映像・現代文化論研究室教員)